

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	東京国立博物館資料観覧等サービス及び図書資料整理業務	
契約締結日	令和2年12月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本アспектコア株式会社	
入札経緯及び結果	令和2年10月9日 入札公告	
	令和2年11月13日 関係書類提出締切	
	令和2年11月30日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様を再度検討し、各要件の必要性を確認した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務開始までに約4ヶ月間の準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	7者に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	A等級の調達であるところ、規程上拡大が認められている下位2等級(C等級)までの参加を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	東京国立博物館茶室管理・清掃及び庭園清掃業務	
契約締結日	令和3年3月2日	
契約の相手方の商号又は名称等	公益社団法人台東区シルバー人材センター	
入札経緯及び結果	令和3年1月29日 入札公告	
	令和3年2月26日 関係書類提出締切	
	令和3年3月 2日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様を再度検討し、各要件の必要性を確認した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務開始までに約1ヶ月間の準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	4者に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	前回同様、A～D等級の参加を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	第72回正倉院展会場展示造作 一式	
契約締結日	令和2年10月6日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社木下家具製作所	
入札経緯及び結果	令和 2年 9月 11日 入札公告	
	令和 2年 9月 29日 関係書類提出締切	
	令和 2年 10月 6日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	収蔵品に関わる特殊な業務であるが、今後見直しを検討する。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務にかかる準備期間は十分に確保されている。
③公告期間の見直し	○	公告期間を18日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約相手方以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	5	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	奈良国立博物館空調設備等の運転管理業務他請負 一式	
契約締結日	令和3年2月26日	
契約の相手方の商号又は名称等	近畿ビルサービス株式会社	
入札経緯及び結果	令和 3年 1月 20日 入札公告	
	令和 3年 2月 10日 関係書類提出締切	
	令和 3年 2月 19日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存設備の管理・保守業務であり仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務にかかる準備期間は十分に確保されている。
③公告期間の見直し	○	公告期間を22日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約相手方以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、一等級及び二等級下の等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注) 1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注) 2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注) 3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	6	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	奈良国立博物館 電話案内代行業務 一式	
契約締結日	令和3年3月9日	
契約の相手方の商号又は名称等	NTTタウンページ株式会社	
入札経緯及び結果	令和 3年 2月 3日 入札公告	
	令和 3年 2月 24日 関係書類提出締切	
	令和 3年 3月 4日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	・郵便入札を実施した。 ・電話案内の受付時間を、前回の「全日8時から22時年中無休」から「全日9時から20時年中無休」とした。 ・「情報セキュリティについて、公的な認定期間により認定された管理システム(プライバシーマーク等)を有すること」を追加した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務にかかる準備期間は十分に確保されている。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	仕様書の交付は受けたが、入札には参加しなかった業者に理由等のヒアリングを検討する。
⑦競争参加資格の拡大	×	今後見直しを予定している。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	7	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	奈良国立博物館ネットワーク・システム等保守 一式	
契約締結日	令和3年3月12日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社日立ソリューションズ・クリエイト	
入札経緯及び結果	令和 3年 2月 8日 入札公告	
	令和 3年 3月 1日 関係書類提出締切	
	令和 3年 3月 9日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	本件は既存システムの保守業務であり仕様書の見直しは難しい。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務にかかる準備期間は十分に確保されている。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約相手方以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
<p>(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)</p> 今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	10	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	文化財エリアIPMメンテナンス業務 一式	
契約締結日	令和3年2月3日	
契約の相手方の商号又は名称等	NPO法人ミュージアムIPMサポートセンター	
入札経緯及び結果	令和2年12月26日 入札公告	
	令和3年1月13日 関係書類提出締切	
	令和3年2月3日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月半程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	11	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館X線分析顕微鏡保守業務 一式	
契約締結日	令和3年2月3日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和3年1月8日 入札公告	
	令和3年1月28日 関係書類提出締切	
	令和3年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	12	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館レーザーラマン分光分析装置保守業務 一式	
契約締結日	令和3年2月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和3年1月8日 入札公告	
	令和3年1月28日 関係書類提出締切	
	令和3年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	13	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館蛍光X線分析装置保守業務 一式	
契約締結日	令和3年2月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和3年1月8日 入札公告	
	令和3年1月28日 関係書類提出締切	
	令和3年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	14	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館分析走査電子顕微鏡保守業務 一式	
契約締結日	令和3年2月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和3年1月8日 入札公告	
	令和3年1月28日 関係書類提出締切	
	令和3年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	15	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館ATOS Triple Scan 16Mシステム、ATOS Professionalソフト保守業務 一式	
契約締結日	令和3年2月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和3年1月8日 入札公告	
	令和3年1月28日 関係書類提出締切	
	令和3年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	16	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館局所排気システム保守業務 一式	
契約締結日	令和3年2月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社ニコンソリューションズ九州営業部	
入札経緯及び結果	令和3年1月8日 入札公告	
	令和3年1月28日 関係書類提出締切	
	令和3年2月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	17	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館建物保守業務 一式	
契約締結日	令和3年3月24日	
契約の相手方の商号又は名称等	鹿島建物総合管理株式会社	
入札経緯及び結果	令和3年2月12日 入札公告	
	令和3年3月12日 関係書類提出締切	
	令和3年3月19日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(2週間程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(九州国立博物館)	
案件番号	18	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	九州国立博物館来館者対応等業務 一式	
契約締結日	令和3年3月26日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社九電ビジネスフロント	
入札経緯及び結果	令和3年1月20日 入札公告	
	令和3年3月19日 関係書類提出締切	
	令和3年3月26日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	広く業者が参加できるよう努めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を十分確保した(1ヵ月程度)
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	応札者以外に入札説明書を受領した業者は無かった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	19	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	プラネタリウムドームの設営等	
契約締結日	令和3年1月6日	
契約の相手方の商号又は名称等	コニカミノルタプラネタリウム株式会社	
入札経緯及び結果	令和2年8月4日 入札公告	
	令和2年8月25日 関係書類提出締切	
	令和2年8月31日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	必要と思われる設備およびその仕様について、あらためて精査を行った。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務の着手から設営まで2か月弱が確保された。
③公告期間の見直し	○	公告期間を18日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	4社に入札説明書を交付
⑦競争参加資格の拡大	○	競争参加資格としてA～D等級を定めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	20	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	奈良文化財研究所文化財情報研究室等調査研究補助労働者等派遣業務	
契約締結日	令和3年3月19日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社エム・アイ・オー	
入札経緯及び結果	令和3年2月19日 入札公告	
	令和3年3月12日 関係書類提出締切	
	令和3年3月18日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	必要と思われる仕様について、あらためて精査を行った。
②業務等準備期間の十分な確保	○	入・開札から派遣業務開始まで2週間弱が確保された。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	5社に入札説明書を交付
⑦競争参加資格の拡大	○	競争参加資格としてA～D等級を定めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	21	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	奈良文化財研究所展示企画室等調査研究補助労働者等派遣業務	
契約締結日	令和3年3月19日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社日経サービス	
入札経緯及び結果	令和3年2月19日 入札公告	
	令和3年3月12日 関係書類提出締切	
	令和3年3月18日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	必要と思われる仕様について、あらためて精査を行った。
②業務等準備期間の十分な確保	○	入・開札から派遣業務開始まで2週間弱が確保された。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	5社に入札説明書を交付
⑦競争参加資格の拡大	○	競争参加資格としてA～D等級を定めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(令和2年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	23	
入札及び契約方式	事前確認公募型随意契約	
契約の件名及び数量	クラウド型図書館システム保守業務	
契約締結日	令和2年12月1日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本事務器株式会社	
入札経緯及び結果	令和2年10月28日 随意契約事前確認公募	
	令和2年11月18日 参加表明書類提出締切	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様を再度検討し、各要件の必要性を確認した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	業務開始までに約4ヶ月間の準備期間を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	×	契約相手方以外に仕様書受領者はなかった。
⑦競争参加資格の拡大	○	D等級の調達であるところ、規程上拡大が認められている上位2等級(B等級)までの参加を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き仕様の再検討、業務準備期間及び公告期間の十分な確保に努める。		
契約監視委員会のコメント		
一者応札案件を減らせるように改善策を考え取り組んでほしい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)		
今後も公告期間を20日以上確保するなど一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。